

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 17 年 1 月 6 日 (2005.1.6)

【公表番号】特表 2004-506167 (P2004-506167A)  
 【公表日】平成 16 年 2 月 26 日 (2004.2.26)  
 【年通号数】公開・登録公報 2004-008  
 【出願番号】特願 2002-518038 (P2002-518038)  
 【国際特許分類第 7 版】

F 2 3 D 11/10

B 6 0 H 1/22

F 2 3 D 11/24

F 2 3 D 11/38

【F I】

F 2 3 D 11/10 B

B 6 0 H 1/22 6 3 1 Z

F 2 3 D 11/24 G

F 2 3 D 11/38 H

【手続補正書】

【提出日】平成 14 年 4 月 11 日 (2002.4.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

燃料を調製するための噴霧ノズル (2) と、点火装置と、燃焼室 (8) を備えた、特に自動車の独立ヒータで使用するための噴霧バーナーにおいて、噴霧ノズル (2) がベンチュリノズルとして形成され、噴霧ノズル (2) のノズルホルダ (3) の手前に、噴霧ノズル (2) に流入する燃焼空気を旋回させる空気案内装置 (10、10) が連結されていることを特徴とする噴霧バーナー。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 2】

噴霧ノズル (2) の少なくとも一部がセラミック材料によって形成されていることを特徴とする請求項 1 ~ 1 1 のいずれか一つに記載の噴霧バーナー。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【 0 0 1 3 】

噴霧ノズルは好ましくはその全長にわたって圧力プロフィルを有する内側横断面を備え、この圧力プロフィルが、少なくとも燃料供給装置からの燃料の流出口の周りに、燃料供給装置内の圧力よりも低い値を有する。圧力低下の程度は、燃料供給装置から燃料を吸い出して噴霧するように選定される。噴霧ノズルの内側横断面は好ましくは同様にペンチュリノズルとして形成されている。